

第3回とやま未来創生戦略施策等評価会議における主な意見

(平成30年12月5日 開催)

◆全般に関すること

- 県の努力で伸ばせる KPI は比較的順調だが、企業や県民の協力が必要な KPI は伸び悩んでいる傾向がある。色々な意見をふまえ、改善方法を検討し、数値の向上を図ってほしい。

【基本目標1】結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

- 最近離婚者も多いため、結婚支援においては、初婚だけでなく再婚のマッチングも大事である。
- 男性の家事・育児関連時間の向上のため、さらなる PR が必要である。
- 「妊娠11週以下での妊娠の届出率」や「乳幼児の健診受診率」について、100%に近づけるため、県で PR 方法を検討するとともに、企業からの PR も必要。
- 子育て応援券はロタウイルスには使えないなどの制限がある。拡充を検討して欲しい。
- がんばる子育て家庭支援融資や、とやま子育て応援団の認知度が低い。保育園や病院などでの掲示、企業を通じた PR が必要ではないか。

【基本目標2】産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

- 『『くすりのシリコンバレーTOYAMA』』での取り組みがスタートしているが、薬の開発には時間がかかるため、10年先を見て評価いただきたい。
- AI、IoT も産業政策として盛り込むべきではないか。
- 地方大学はアンブレラ（法人複数大学方式）にする流れがある。県立大学は富山大学と提携してもよいのではないか。
- KPI となっている「沿岸漁業の漁獲量」が減少している。ブリ、ホタルイカ、シロエビなどの「富山のさかな」ブランドのイメージを維持するため、長期的な取り組みが必要。
- 観光関連の KPI の実績が思わしくない。3大都市圏や海外で富山の知名度を高める取り組みを続けて欲しい。
- 夜の観光が富山県には不足している。富山湾岸も夜に淋しい。「明かり」があってもいいのではないか。
- 富山湾は魅力だが、海を見ながら走れる道路が少ない。
- 健康がブームであり、サイクリング、マラソンの実施は観光誘客に効果的と感じる。
- オーストリアでは、林業の活性化により大成功を収めている例がある。こうした事例は若者の魅力ある仕事作りに寄与するのではないか。
- 伝統工芸は高齢化・後継者不足が進んでおり、事業を引き継ぐにも10年以上かかることを踏まえると、「一層の施策の推進が必要」と感じる。
- 企業ニーズと大学シーズのマッチングは少ないと思う。人材だけでなく、研究テーマのマッチングを促進すべきではないか。
- 若者の就業率の向上のため、生徒に対する職場見学の取組は効果的と感じる。

【基本目標 3】女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

- 外国人の受入れ拡大にあたっては、警察の強化も必要ではないか。
- 今後の企業の海外展開のため、現地とのネットワーク形成にあたり即戦力となる、外国の高度人材の確保が重要である。
- 外国人留学生のマッチングを促進することが重要である。
- 外国人は生活の仕方が日本人と大きく異なるため、調整しないと地域での受入れは難しい。
- 働ける元気な高齢者はたくさんいる。高齢者雇用をどんどん広げてほしい。

【基本目標 4】活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

- KPI の「地域活動に参加している人の割合」が減少しているように、地域活動の高齢化が進んでいる。行政としても働きかけ、助言、助成してほしい。
- 自主防災組織への女性の加入を促進し、防災について積極的に女性の意見を吸上げてほしい。